

## **海外感染症流行情報 2025 年 1 月**

### **(1) 全世界:インフルエンザ、COVID-19 の流行状況**

インフルエンザの患者数は1月に入って欧米や東アジアなどで増加しています。ウイルスの種類は、東アジアやヨーロッパではA(H1N1)型が多く、北米ではA(H1N1)型とA(H3N2)型がほぼ同数となっています(WHO Influenza update 25-1-23)。日本では1月中旬になり患者数が減少傾向にありますが、今後、B型の流行が予想されます(厚生労働省 25-1-24)。

COVID-19 の患者数は1月に日本や米国で増加しましたが、昨シーズンよりも少ない数になっています(厚生労働省 25-1-24、米国CDC 25-1-24)。また、欧州では一部の国を除き、患者数があまり増えていません(ECDC 25-1-24)。ウイルスの種類はXEC型が増加傾向にありますが、昨年夏に拡大した KP.3 系統も引き続き検出されています(WHO 25-1-17, 国立感染症研究所 25-1-17)。COVID-19 は例年2月頃に流行がピークを迎えるため、今後も注意が必要です。

### **(2) 全世界:エムポックスの流行状況**

エムポックスで重症化しやすい1型の患者は、アフリカのコンゴ民主共和国、ブルンジ、ルワンダ、ウガンダなどで引き続き発生しています(WHO Mpox 25-1-11)。アフリカ以外では、この 1 ヶ月間、新たにフランスや中国などで患者が確認されました。英国、ドイツ、ベルギー、中国では国内での二次感染も報告されています(ECDC 25-1-10)。

### **(3) アジア:中国での呼吸器感染症の増加**

昨年12月から中国北部で呼吸器感染症が増加しているとの情報があり、WHOが調査を行いました。

その結果、インフルエンザの流行が拡大しているとともに、ヒトメタニューモウイルスの患者が増加していることが明らかになりました(WHO 25-1-7)。このウイルスは以前から風邪の原因として知られており、子どもや高齢者で肺炎をおこすこともあります。WHO は想定範囲内の規模の流行であるとの見解を示しています。

#### (4) アジア: デング熱の流行状況

アジアの多くの国ではデング熱の流行が収束しています。しかし、マレーシア、ベトナム、バングラデッシュ、スリランカなどでは、1月も患者の発生がみられています(西太平洋 WHO 25-1-9、南東アジア WHO 25-1-12)。滞在中は蚊に刺されない対策をとるようにしてください。

#### (5) アフリカ: エチオピアでマラリアが流行拡大

東アフリカのエチオピアで、24年のマラリア患者数が過去最多の 840 万人になりました(ProMED 24-27)。米国CDCによれば、首都のアジスアベバを含むほぼ全土で感染リスクがあり、渡航者には予防内服を推奨しています(米国CDC 25-1-17)。エチオピアは日本からの直行便があり、近年、日本人の観光客も増えていますが、滞在する際はマラリアの予防対策が必要です。

#### (6) アフリカ: タンザニアでマールブルグ熱が発生

東アフリカのタンザニアでマールブルグ熱の患者が発生しています(WHO 25-1-13)。患者が報告されたのは同国東部のカゲラ地域で、疑い患者が 10 人確認され(2 人確定)、このうち 9 人が死亡しました(ECDC 25-1-24)。この地域はウガンダやルアンダと国境を接しているため、隣国への拡大が懸念されています。

**(7) 北米: 米国での鳥インフルエンザH5N1型の流行状況**

米国で昨年から発生している鳥インフルエンザ H5N1 型ウイルスの患者は、今年 1 月下旬までに 67 人にのぼっています(米国 CDC 25-1-17)。患者の大多数はウシや家禽の牧場労働者で、結膜炎や上気道炎など軽症ですが、12 月初旬にルイジアナ州で発病した患者は、自宅で飼っている家禽から感染しており、1 月初旬に死亡しました。

**(8) 南米: ブラジル南部での黄熱患者発生**

今年 1 月、ブラジル南部にあるサンパウロ州のカンピーナス郊外を訪問した者が、黄熱を発病しました(Fit For Travel 25-1-17)。同州ではサルの感染例も報告されており、滞在者はワクチン接種を受けるようにしてください。